

【議事概要】第27回浜田市行財政改革推進委員会

平成25年1月11日(金)
10時00分～12時00分
浜田市役所5階全員協議会室

出席者

- 【委員】大橋敏博委員、光延忠彦委員、~~岩谷百合雄委員、藤田教造委員~~、石橋修委員、高平淳一委員、小谷典弘委員、鎌原ヤシエ委員、馬場真由美委員、細川良一委員、塚本守委員、芳川榮佑委員、小松原茂委員、松本健志委員、佐々木富士子委員、三浦健一委員、森田博美委員
- 【市】副市長、~~教育長~~、総務部長、企画財政部長、健康福祉部長、市民環境部長、産業経済部長、建設部長、会計管理者、議会事務局長、教育部長、消防長、上下水道部長、広域行政組合事務局長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、総務部次長、企画財政部次長、教育部次長、財政課長、人事課長、総合調整室長
-

1. 協議事項

(1) 浜田市行財政改革実施計画 平成24年度上半期進捗状況について

- ・ 標題議事について、資料を用いて事務局より概要を説明の上、委員からの意見、質疑を受けた。
- ・ 委員意見、質疑の詳細については、別紙のとおり。

2. その他

(事務局より)

- ・ 今回の委員意見を踏まえて今後の運営方法等を検討する。
- ・ 今回の審議内容は市HPでも公表する。

委員意見等(要点筆記)

委員意見
<p>「リハビリテーションカレッジ島根との連携」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 昨年度と比較して学生数が減少しているのは何故か。◇ 入学助成の内訳を伺う。民間のアパート経営活性化も入学助成の目的と以前聞いたが、アパートの利用率はどの程度か。◇ 半数近くアパートを利用しない状況で全額助成するのでは手段が過剰ではないか。◇ 近年の卒業生は、就職率は高いが地元に残らない。どうすれば、より地元でメリットが生まれるか、検討して欲しい。
<p>「地区まちづくり推進委員会の設立推進」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 浜田自治区での設立が困難な理由と、その整理と、担当職員が市民と同じ目線で取り組みが進められているのか、現状を伺う。
<p>「学校給食施設の統合」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ H25年度以降に見直された統合計画も、旭の学校統合に併せて動き出すと思われる。今後の地元説明に関しては地元の意見をよく聞いて対策を検討して欲しい。
<p>「議会の情報公開の促進」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ H24年5月開催の議会報告会について、住民参加数等の状況と、今後継続して実施されるかどうかを伺う。◇ 各種団体への周知に限らず、高齢者や子育て世代など、対象を絞って参集するといったような工夫もされてはどうか。
<p>「幼保一体化の検討」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 幼稚園統合を当面延期したとあるが、「当面」とは具体的にいつごろまでをそうしているのか。
<p>「審議会等委員体制の見直し」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 女性の参画率は徐々に向上していると思うが、現在でも女性委員のいない審議会はあるのか。
<p>「議会の情報公開の促進」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 90分の時間設定では短いとの意見が地元からあった。◇ 議会報告会は陳情や要望の場では無いことは分るが、その場で出た意見については何らかの回答をされるのか。◇ 意見を出された個人に回答するのではなく、地域全体への説明として周知する方法を取って欲しい。
<p>「窓口サービスの見直し」</p> <ul style="list-style-type: none">◇ 年間の利用件数等について伺う。 <p>また、行革を進める一方でサービスの拡充を進めることについて、どのような議論がなされているのか、説明を求める。</p>

委員意見

「人事考課制度の導入」

- ◇ 人事考課制度については、仕事を進める上でモチベーションも高まる良い制度であると思う。制度の実施については、現場職員から要望もあったのか。また、制度導入による職員にとってどのようなメリットがあるのか。

- ◇ 新規採用職員への研修についてはどのようにされているのか。
- ◇ 接客サービスをする職場で、挨拶等の基本的な部分にも取り組んでいただきたいと思う。また、ゴミ収集等に同乗することもあると聞くが、様々な方法で外部研修を検討されてはどうか。

職員研修一般について

- ◇ 新規採用以外にも定期的な（採用〇年目）研修はあるのか。
- ◇ 他市との交流を目的とした研修はされているのか。

「会議のあり方見直し」

- ◇ 今後の職員減少を見据えて、本庁・支所間の移動を伴う会議や情報伝達のあり方については「124IT 活用による業務改善の推進」と連携しながら効率的な方法を検討して欲しい。
- ◇ テレビ会議等を活用するなど、限られた職員の負担を少しでも軽くして欲しい。

「フロンティアプロ 21 の活用」

- ◇ 報告件数 0 となっているが、現状はどうか。
- ◇ 若手職員が意見を出しやすくする上司の雰囲気作りも重要と考えるが、その点についてはどのような工夫をされているか。

「適材適所な職員配置」

- ◇ 月 30 時間超勤務月数の目標を大幅に達成しているが、今年度の取組による成果と考えてよいか。

「地球温暖化、省エネ意識の醸成」

本項目の取組は大きな成果を上げており、庁内での取組みを市民にもアピールして、地域全体の取組みに拡充して欲しい

行革と財政計画の関係について

- ◇ 行革の基本は財政改革であるが、これまでに取り組んだ計画の結果、財政状況がどのように変化（良くなったのか、悪くなったか）したか、方向性を示して欲しい。
- ◇ 5 カ年の財政計画も作成されているが、財政計画に沿って作成された行革計画に基づいて行革が進めていると思うが、その成果が起債制限比率や公債費比率にどのように影響しているのか、示して欲しい。
- ◇ 行革計画の推進によって、財政状況が改善されているのかどうかを示して欲しい。

委員意見

「火葬場運営のあり方検討」

- ◇ 火葬場に関するパブリックコメントがなされているが、現在の集計状況はどのようになっているのか。市民の声を大切にしたい方針決定をして欲しい。
- ◇ 火葬場に関して、弥栄と旭の存続を求める意見が大半を占めたと新聞報道を見た。パブリックコメント意見数は 100 件程度かだが、弥栄町民は 100%弥栄火葬場の存続を求めると思う。
- ◇ 確認の意味で、弥栄全世帯から意見を聞いて市民意見を把握しなければ、市民意見を無視した計画策定になる。統廃合の大きな決断をする場合には、市民意見を十分に把握して決断してほしい。

「社会福祉協議会助成事業」

- ◇ 社会福祉協議会では、昨年から市の福祉バスを譲り受けて運行している。非常に厳しい社協の財政状況の中でわずかな運営費補助だけでは社協の負担が大きい。燃料費は利用者の負担であるが、運転手の人件費は社協の負担となっている。
- ◇ 現在、市からは金城、三隅の福祉バスも同様に運営して欲しいとの要請もある。既に厳しい財政状況にある上に更に事業拡大することは困難である。

歳入確保対策について

- ◇ 安倍新内閣では、「分配から富の創出」を掲げられたが、歳入が縮小する浜田市の財政状況において今後どのような対応をすべきか。事業費を削減しながら住民のニーズに応じていくという考えもあるが、どう稼いで歳入を増やすか、考えを伺いたい。

「児童館の廃止」、「小学校の統合」

- ◇ 児童館や小学校等が統廃合された場合、その跡地利用はどのように考えているか。放置するよりも処分することで固定資産として市の収入増を試みてはどうか。

「有料広告事業の推進」

- ◇ 広告料収入目標が 240 万円で変わらないが、増収できるような方法を新たに検討される考えはないか。

「(財) ふるさと弥栄振興公社」

- ◇ この施設で接客対応に不満を持ったという話を聞いた。リピーター確保のためにも職員の接客対応の改善を求める。